

「家庭学習スタンダード」の活用実践事例

「主体的・対話的な学習を通して、児童生徒が相互に啓発し合える授業」と「自己マネジメント力に基づく家庭学習」による学習サイクルの確立

石神中学校ブロック

家庭学習の習慣が身につけている生徒が多いが、中には習慣自体が確立していない生徒や充実した学習内容になっていない生徒もいる。授業を振り返り、自分に必要な学習について学校で計画を立てさせることによって、自主的な姿勢と、学習内容をより意義のあるものにすることを目指し、指導に取り組んでいる。

取組のねらい

自ら家庭学習の計画立てをする主体性を育てたい。

帰りの学活でその日の授業を振り返り、自分に必要な学習について考え、家庭学習の計画立てをすることで、学習サイクルを確立させ、家庭学習の内容の質的改善につなげていくことをねらいとした。

取組の内容

まとめ・振り返りの時間を確保し、家庭学習に関するアドバイスをを行う。

授業において、まとめの時間を確保し、学習内容を振り返らせるとともに次の授業につながる課題を出すことにより、家庭学習への意欲を高められるようアドバイスや指示を与えるようにしている。

石神ブロック「家庭学習の手引き」の作成、配付

「家庭学習スタンダード」をもとに、より具体的に取組内容を示した「家庭学習の手引き」を石神地区共通という形で作成し、全家庭に配付した。これにより、小中が共通認識をもって取り組めるようにした。

小学生版



中学生版



学習指導案への位置づけ

「学習サイクルの確立」を目指し、今年度指導案へ「授業の質的改善に向けた本時の手立て」と「家庭学習との関連」という項目を記載することとした。これらの項目が相互に機能し合えるように記載することによって、教師が「どのように授業をまとめ、家庭学習につなげていくか」を考え授業を組み立てる意識付けにつながっている。

第1学年3組 理科学習指導案
平成30年7月4日(木) 第5校時
場所：理科室1 指導者：瀬戸 聡

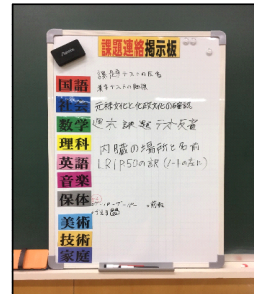
1 単元名	身のまわりの物質 「身のまわりの物質とその性質」	
2 単元設定の理由	<p>【生徒の姿】 本学級の生徒は学習に意欲的で、授業に真面目に取り組みることができる。話し合い活動に協力して取り組むことができ、発表や発音も積極的に多い。理科への興味関心が高く、既習事項を踏まえつつも自由な発想で考えることのできる生徒が多い。 生徒は日常生活の中で水溶液や気体などの物質を無意識に利用し、加熱・冷却による物質の状態変化にも接している。しかし、このような身のまわりの現象にはあまり関心を示さず、物質に直接触れたり、その性質や変化を調べたりする体験が比較的少ない生徒が多い傾向にある。測定値の取り扱い、結果の記録、グラフ作成などのデータの処理、データからの規則性の発見などについても未経験であるため、支援していただきたい。また、科学的根拠に基づいて、自信を持って積極的に思考、表現活動に取り組むことができるよう支援している。</p>	<p>【教師の願い】 本単元は観察、実験を通して物質の性質や状態変化などについて理解させるとともに、実験器具の操作や、結果の記録の仕方などの技能を習得させることをねらいとしている。 まず、物体と物質を区別させることから導入し、より高度な見分け方を習得させる過程において、観察・実験の方法、器具の操作、記録のしかたなどの基礎的な技術を習得させたい。また、物質に直接触れて調べる楽しさと意欲を養い、物質に対する興味・関心を高めていきたい。 本授業では、前時までに学習した金属と非金属の見分け方を発展させ、さまざまな金属の見分け方について、どのように区別できるかを考えさせる。密度が物質に固有な数値であり、計算から求めることができることを理解した上で、密度を利用して、金属の特定を行う。その過程で、論理的な思考を促し、課題となっている科学的な思考力を育成し、活用する力を伸ばしていきたい。</p>

<p>【授業の質的改善に向けた本時の手立て】 ☆1 思考を深める学び合い活動の工夫 根拠をもとに思考をまとめ、班での話し合いにより、見通しをもつて必要な実験を選択できるようにする。 ☆2 学びを深め、次の学習へ向かう力を育てる「まとめ・振り返り」の指導の工夫 授業を通して学習したこと、自分にとっての新発見などを自分の言葉で講べる。</p>	<p>【家庭学習との関連】 ・密度の定義の理解 ・密度の求め方の計算練習 ・密度による物質の特定が有効な場面を具体的に考える。 ・密度による物質の特定が使えるもののほむとを学ぶ。</p>
---	--

「課題連絡掲示板」の活用

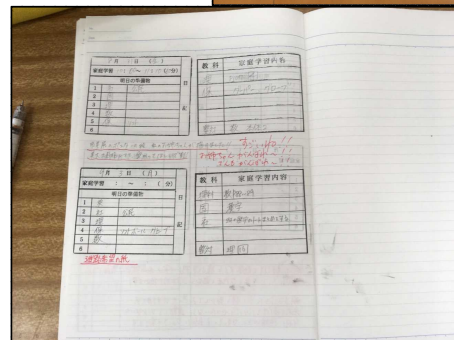
各教室に「課題連絡掲示板」を設置し、課題や宿題に特化した内容を各教科委員が書き込むようにしている。

生徒が次の授業への課題を確認するとともに、教師が課題・宿題の教科間のバランスを確認することにも役立っている。



「学習ログ」(家庭学習の計画立て)

帰りの学活時に「課題連絡掲示板」を参考にしながら、その日の授業を振り返り、自分に必要な学習内容を考え、家庭学習の計画立てをするよう指導している。



実践して見えてきたこと

学習サイクルを意識した家庭学習の指導

「課題連絡掲示板」の活用及び「学習ログ」を利用した家庭学習の計画立ての指導を継続して行ってきた。そのことにより、学校で家庭学習の計画を立て、家庭で自分の必要な学習に取り組む学習サイクルへの意識が高まった。

保護者との連携強化の必要性

生徒の学習サイクルは確立されつつあるものの、自主学習ノートなどに目を向けると、学習内容については課題が残る。学習内容の質的改善、また「字を丁寧に書く」「TVやスマホなどの誘惑に負けないように取り組む」といった課題の改善には家庭との連携が必要不可欠である。生徒同士がお互いの学習方法を学び合ったり、保護者が家庭学習をチェックするなどの方策を考え、実践していきたい。